

令和6年度 長崎県立諫早高等学校・諫早高等学校附属中学校 学校関係者評価

1 評価の実施期日

令和7年2月14日（金）

2 学校関係者評価委員

学校評議員4名による兼務（4名中4名出席）

3 学校関係者評価の内容

(1) 学校現況報告

学校行事等実施状況、令和6年度進路状況、中高部活動等状況 等

(2) 学校評価説明

3つの評価分野ごとに、評価項目および成果と課題などを確認

(3) 委員からの意見など

- ・生徒、保護者の評価と教職員の評価に乖離がある。  
（教職員の評価の方が生徒・保護者の評価より低い）
- ・1人1台端末について  
授業、情報発信、講演会など様々な場面で活用しており、今後も利用を続けるべきである。  
故障端末が増加している状況がある。対応を考えていかなければならない。私立高校では端末のレンタル制やWi-fi開放などを実施している学校もある。
- ・愛郷精神について  
愛郷精神を育てて欲しい。  
進路のしおりにUターン、Iターンの体験談等を入れられないか。
- ・チーム担任制について  
責任の所在がわかりにくくならないか。
- ・制服および制服の着こなしについて  
職場でも服装は変化しているが、社会でしない格好は、するべきでないと思う。
- ・長期欠席について  
長期欠席は少なくなっている。補習等の減少により生徒は元気になっている。
- ・学校評価 評価項目について  
現行の学校評価アンケートでは実態を反映できていないのではないか。  
手間ばかりがかかっているように思う。